

墨田区議会

自由民主党会派報

発行
 墨田区議会自由民主党
 墨田区吾妻橋1-23-20
 発行責任者 田中邦友
 編集責任者 中沢進
 区議会ホームページ
<http://www.city.sumida.tokyo.jp/kugikai/>

常任委員長に聞く

墨田区議会では、本会議での議論だけでなく、議案の審査等をその所管別に四つの常任委員会に付託して、より緊密な議論をしていくシステムをとっています。

今回は、企画や財政、区の組織運営などを所管する企画総務委員会の瀧澤仁委員長、まちづくりや産業振興、地域振興などを所管する地域都市委員会の中村光雄委員長、教育や国民健康保険などを所管する区民文教委員会の西原文隆委員長、福祉や健康づくり、衛生関係を所管する福祉保健委員会の阿部幸男委員長にお集まり願ひ、中沢進広報部長の司会で抱負を語っていただきました。

活発な委員会運営を

司会(中沢進広報部長) 常任委員長の皆さんは、その会議を運営し統括するわけで、その役割は大変重いものです。今日は、皆さんの抱負や問題などを伺いたいと思います。はじめに企画総務委員会の瀧澤委員長いかがですか。

瀧澤 区の財政が逼迫したなかでは、十分な補正予算を組むことが難しくなっています。区民のための活発な議論をしていくためにも、これからは区長からの提案だけでなく議員からも積極的に提案していくことが大事でしょう。なにもお金をかけなくても工夫によってできることはたくさんあるはずですよ。



瀧澤仁委員長

司会 なるほど、積極的な姿勢が必要ですね。



中村光雄委員長

では、地域都市委員会の中村委員長。中村 そうですね、確かに六月、九月の定例会では、議案が少ないうえ議論がもうひとつという面がありました。私の委員会で議案よりも報告事項が多く、その報告のいずれも、まちづくりや産業振興に関するものばかりです。重要な案件です。活発な議論をしていかねばなりません。

確かに教育改革をめざして司会 います教育が改革が叫ばれていますが、区民文教委員会の西原委員長はどう思いますか。

西原 少子化社会の大きなうねりのなかで、学校選択制や二学期制導入の成否が問われる大切な時期を迎えています。この

改革が、真に子どもたちのためになるようにしたい。委員会では、活発な議論を通じてよりよいものにしていきたいと考えています。

部の功賞を賞賛して

司会 福祉保健委員会の阿部委員長は、この十月一日の都民の日(東京都の功労者表彰)を受けられたと聞きましたが、そのことも含めて抱負を聞かせてください。

阿部 図らずも、皆さんを代表して受賞しましたが、大変名誉なことと感じています。この賞に恥じることもないよう頑張りたいと思います。

私の委員会は、区民の福祉や健康の向上をめざすものです。区民生活に身近なことが多く、慎重に審議を進めていかねばなりません。司会 地域活動への貢献が認められての受賞ですから、われわれにとっても大きな励みになります。本当におめでとうございませぬ。

まずは財政再建

司会 さて、墨田区の財政が厳しいところになっていますが、財政再建には行財政改革が不可欠だと思えます。この問題について皆さんの考えを伺いたい。

瀧澤 一刻も早く財政再建を成し遂げねばなりません。特別な財政措置をしないで単年度での収支均衡としていくのは当然のことですが、それだけで事足りるとは言えませ

ん。墨田区の借金(区債)は平成十五年度末で四億五千万円、一方、貯金(基金)が一億九千万円です。借金を少なくし適切な基金を積み立てることができ、はじめて財政再建を成し遂げたいですね。

中村 私もそう思います。このたびの九月定例会で、自民党の代表質問をしましたが、区長の答弁では財政に対する切迫感がないと感じました。区政全般に言えることですが、もつと緊張感を高めていくよう、私たちが議員も、行政を厳しく監視していく必要があると思

います。司会 そのとおりです。それが議員の重要な役割ですから。

開発の学方(学方)プロジェクトが期待されていますが、どう受け止めていますか。

西原 先般の東京都の共通学力テストの結果を、どうカリキュラムを取り込んでいくかが重要で、それに加えて、墨田区独自の「学方向上カリキュラム」の進捗に大いに期待しているところです。この九月末から一斉にテストが行われ、そのように生かされていくか、しっかりと見ていかねばなりません。

司会 そのためには、まず情報公開がなければいけませんね。

情報公開が力になります。情報公開はこれからの

ますます重要になってきます。情報を公開した上で、「区民の参画と協働」を得る努力が、区にとって重要です。例えば、区の行政改革実施計画では、職員定数を平成十八年度で五百人削減し、職員一人当たり区民百六人にすると聞いています。もつと個人の考えは、もつと職員を削減し職員一人当たり区民百二十人をめざすべきだと思っています。こういったことも、情報公開によって区民の考えを聞き、区政に生かしていくべきです。

司会 行政にわたる行政改革は水遠の課題ですね。さて、いま各委員会抱えている課題について伺いたいのですが。

自立のための福祉を

阿部 高齢者社会への対応はとても大事です。特に、介護保険制度の導入では、どのように必要に応えるか。また、生活保護扶助費が平成十五年決算で九十九億四千万円、一般会計歳出総額八百五十五億円の二・六%にも上っています。子育て支援も新たな需要にどう対応していくべきか。また、健康づくりについても、墨田区は23区のうちでも平均寿命が短いことが指摘されています。いずれも重要な課題であり真剣に取り組まなければなりません。基本的には、福祉

司会 そう、明日を支える子どもたちのためにも、教育は大切で、教科書はその基本となるものですから。



阿部幸男委員長

待たせました。まちづくりは区民が主役

中村 まちづくりは、街の人々がどういう考えを持っているかをつかむことがとても大事です。いま、日本の景気は上向きだといわれていますが、本当にそうなのか。下請けの多い墨田区の中小企業には、なかなかそれが回ってこない。商店街を含めて産業振興にもっと力を入れて取り組んでいかなくてはならないと思います。例えば、いま観光まちづくりに取り組もうとしていますが、肝心なことは、いかにして区民が中心となって活動しているかです。墨田区は観光資源には事欠かないので、現状はもったいないことだと感じています。それ以外にも、産学官連携事業の推進や国際フェアトレードセンターの有効的な活用など多面的な施策の展開が必要だと考えています。

司会 ありがとうございます。司会 皆さんの抱負、これからの展望を伺って、司会者も大変心強い思いがします。頑張ります。

それでは、皆さんの座右の銘をお聞かせください。

瀧澤 「二真良政」

西原 「朝(あした)に希望」

中村 「二志(いそ)二道(みち)をまっすぐ持つて突き進む気概が必要です」

阿部 「日々努力」

司会 どうもありがとうございます。ますますご活躍くださるようお願ひします。



西原文隆委員長

最後に中村委員長、お

●会派の活動状況●



阿部幸男さんが東京都功労者表彰を受賞
去る十月一日の都民の日
に、阿部幸男さんが、石原
慎太郎都知事より地域活動
の功を認められ、東京都功
労者表彰を受けられました。

平成17年度の予算要望等提出

平成17年度予算編成への要請書
「行財政改革実施計画」の意見書
「特別区制度改革における都区協議」・23区間協議で
の意見書
を、山崎区長に提出しました。これらは、いずれ
も大変重要な案件であり、その実現について強く
要請いたしました。

平成15年度決算特別委員会

十月十三日から二十七日まで開催
される15年度決算特別委員会の、
委員 長に中沢 進さん
副委員長に樋口敏郎さんが選出さ
れました。

自民党は精力的に調査活動を展開中!

- ▽8月10日(16人参加)
 足立区「教育改革・雇用施策」
 江東区「体育館」
- ▽8月19日・21日(12人参加)
 長野県佐久市・中野市「健康づくり」
 長野県小布施町「観光都市づくり」
- ▽8月24日・25日(8人参加)
 大阪市「ホームレス対策」
- ▽9月27日(4人参加)
 足立区「アター千住・幼保園」
- ▽10月6日・7日(13人参加)
 静岡県浜松市「浜名湖花博」
 愛知県蒲郡市「観光都市づくり」



大阪でホームレス対策会議



ラグーナ蒲郡にて

第3回定例会での質問概要

平成16年9月9日～30日

代表質問



中村光雄

●観光まちづくりについて

都は地域特性に応じた観光まち
づくりを提案しているが、本区
はどのような特性を生かすのか。ま
た、北斎館建設とまちづくりとの関
連をどう考えるか。
商店街活性化の一例として、
商店街活性化を努力義務化する条例
について、商店街活性化の一環とし
てどう考えるか。

●伝承文化等数多く集積する新旧

の観光資源を結びつけ、歩いて
楽しい都市型観光施策を展開す。加
えて、北斎のイメージを想起するま
ちづくりを行いたい。また、条例化
の問題は、商店街における加入状況
等を把握し、他区における実効性等
も参考に検討したい。

●総合体育館について

錦糸公園内にPFIを活用した
総合体育館建設を検討している
が、可能を限り区民、利用団体の声
を生かし、より良い総合体育館の建
設を強く要望する。
可能を限り区民、利用団体の意
見を生かした長期的な観点に立
ち、より良い総合体育館をめざしたい。

●教育問題に関連して

今後の学力調査結果についても
勇気をもって公表し、対応策を
皆で考え、教育環境の充実に備える
ことが大切と考えるがどうか。
全校を対象に実施する学力調査
の結果公表方法等について、慎重
に検討している。今後各校の指
導方法の改善、充実に取り組む。

●17年度予算編成期を控えて

財政調整交付金の区別算定で、
十七億三千万円の歳入欠陥が発
生するが、区長の見解は。
当初算定残と再調整、特別交付

一般質問



中沢進

●産学官連携事業の取り組みについて

産学官連携クラブでのマルチマ
イクロ発電開発プロジェクト
に、どんな支援を考えているか。
本区は、高齢化率が高いが、福祉
分野のニーズに取り組み考えは。
経営革新支援事業は、どのように
展開し効果を出しているのか。
早稲田大学以外の大学とも交流を
進め、区内企業とコラボレーション
できる取り組みが必要では。

●今定例会で研究開発の初期準備

資金を予算計上するが、来年度
も支援を継続したい。
福祉団体や企業のニーズも踏ま
え、実現の可能性を探りたい。また、
経営革新支援事業は本年度のモデ
ル事業の結果を踏まえ、効果的な支
援につながるよう検討したい。
要望があれば、他の大学等との交
流も活発に進めていく必要がある。

●真の住民自治の確立をめざして

時代は、上からではなく内側か
ら自治としなければならぬ。
自治の確立に不可欠であり、今後、
住民本位の区政となるかの分岐点に
なるが、区長の考えは。
真の住民自治確立までは、住民
が地域のために自ら考え行動す
る仕組みづくりが重要と考える。今
後とも、区民の参画と協働が図れる
仕組みづくりを行っていききたい。

●指定管理者制度について

指定管理者制度は、区民サービ
スの向上等大きな効果が期待で
きる。早い時期にすべての施設につ
いて条例改正を行うべきだ。今後の

●都区制度改革のその後の経過について



藤崎よしのり

●都区制度改革のその後の経過について

都区財政調整制度で積み残され
た「主要五課題」に対して、区
側の主張が定議されるよう強く求め
ていくべきでは。
清掃一部事務組合が十八年度以降
当分の間存続すると、組織の再検
討を図る必要があるのでは。また、清
掃問題は区民に密着した事業であり、
清掃問題は住民、議会が納得できる
方法で解決すべきと考えるがどうか。

●区長会として都側へ申し入れを

行ったが、今後、議長会等と
も手を携えて主要五課題を解決し、
特別区の財源確保を図りたい。また、
区長会では効率的、効果的な運営を
図るための検討を行っている。
区内には清掃工場もあり、区民等が
納得する解決策を出すべきと考える。
昨年十一月に整理した二十四課題は、
検討結果がまとまり次第報告する。

●男女共同参画社会条例について

男女共同参画条例は、国の基本
法の意図を十分に考慮し、慎重
に策定しなければならぬ。区長の
考える男女共同参画社会とはどのよ
うなものか。条例制定に向けて、ど
のような手順で進めるのか。また、
男女共同参画条例とジェンダーフリ
ーとの関係について、区長の考えは。
男女が社会の対等な構成員とし
て、あらゆる活動に参画できる機
会が確保され、能力が十分発揮でき
る社会と考える。推進会議で検討でき
る社会と考える。推進会議で検討でき
る社会と考える。推進会議で検討でき
る社会と考える。

●ジェンダーフリーの使用は、条例

の趣旨が誤解される可能性もあり、
慎重に取り扱いたい。

ご相談は、もよりの議員へお気軽に

- 阿部 幸男 京橋一五二一 電話一五九九
- 中沢 進 京橋一五二一 電話一五九九
- 沖山 仁 京橋一五二一 電話一五九九
- 中嶋 常夫 京橋一五二一 電話一五九九
- 木内 清 本所一九五五 電話一五九九
- 中村 光雄 本所一九五五 電話一五九九
- 小池 武二 八坂一四一六 電話一五九九
- 西原 文隆 本所一九五五 電話一五九九
- 坂下 修 向島一八一〇 電話一五九九
- 早川 幸一 本所一九五五 電話一五九九
- 桜井 浩之 立花二一八三 電話一五九九
- 樋口 敏郎 八坂一四一六 電話一五九九
- 瀧澤 良仁 本所一九五五 電話一五九九
- 藤崎よしのり 向島一八一〇 電話一五九九
- 田中 邦友 八坂一四一六 電話一五九九
- 松野 弘子 本所一九五五 電話一五九九
- 出羽 邦夫 八坂一四一六 電話一五九九

編集後記

前号で座談会の記事を掲載した
ところ、多くの方々からとても面
白く議員の考えもよく理解できた
とお褒めの言葉をいただきました。
今回は、区民の身近な問題を審議
する常任理事会の委員長対談を掲
載しました。ご意見等、どしどし
お寄せいただければ幸いです。
(中沢 記)